



● 草の根パートナー型

平成15年度第1回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1.国名	ミャンマー
2.事業名	コーカン地区麻薬撲滅支援プロジェクト
3.事業の背景と必要性	コーカン地区は、世界でも有数な麻薬原料の産地であったが、2002年末からケシ栽培は禁止され、今年は、住民の大部分を占めるケシ農民がケシの収穫無しで迎える初めての年となっている。しかし、これまで彼らは、ケシ栽培によって得た現金収入で1年の生活に必要な糧の半分を入手して生計を立てていた。このため、ケシ栽培の禁止は、住民の経済活動の基盤を根本から揺るがしており、さっそく食料不足が始まる危機が懸念されている。在ミャンマー国日本大使館及びJICAミャンマー事務所は、コーカン地区への支援を最重要課題とし、日本のNGOによる支援にも期待しているところである。
4.事業の目的	コーカン地区の住民がケシ代替作物栽培を実施するのに必要な技術・環境整備を支援し、ケシ撲滅後の生活を改善する。
5.対象地域	シャン州コーカン地区コンジャン郡
6.受益者層	コンジャン郡住民のうち約3分の1にあたる9,300人を達成目標の直接受益者とする。地域全体の状況改善を目指しつつ、少数民族、及び女性のニーズには特段の配慮を行う。
7.活動及び期待される成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域住民が主体となった活動実施体制が整う 指標： 各村落区に育つボランティアの人数 ● 飲料、農業に必要な給水設備が整備される 指標： 給水施設整備が実施される村落区数 給水施設整備工事後、状況が改善されたと感じる農民の数 ● 地域における食糧の生産量が増える 指標： 栽培作物の種類と年間収穫量
8.実施期間	2004年5月～2007年4月
9.事業費	第一年度契約金額：24,179千円（精算金額：23,784千円） 第二年度契約金額：24,951千円
10.事業の実施体制	ミャンマーに駐在する日本人プロジェクトマネージャーが事業全般の運営に責任を持ち、12人体制のプロジェクトチームを編制する。また、パートナー組織であるワールド・ビジョン・ミャンマーの全面的なバックアップのもと事業実施にあたる。
II. 実施団体の概要	
1.団体名	特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン
2.活動内容	子どもを中心に据えた緊急・復興・開発援助を次の分野で実施している：教育・医療／保健衛生・農業・食糧・水・経済開発・職業訓練・指導者養成
3.対象国との関係、協力実績	<ul style="list-style-type: none"> ● コミュニティー参加型 保健・教育・経済開発プログラム（エーヤワディー管区タバウン郡区2002年4月～） ● ドーボン郡区教育支援事業（ヤンゴン管区、2002年3月～） ● パ・アン郡区洪水復興緊急支援（カレン州、2002年10月～） ● HIV/AIDS対策 住民組織キャパシティービルディング事業（2003年6月～ シャン州、カレン州、タニンダリー管区、エーヤワディー管区）